

# エスアールジータカミヤ株式会社

平成25年3月期 決算説明資料

－ 2013.05.21 －



**SRG Takamiya**  
SUPER RENTAL GROUP

# 平成25年3月期 4Q トピックス

平成25年02月 「役員の変動に関するお知らせ」を公表しました。

## 1. 新任執行役員を選任（平成25年4月1日付）

新役職名	氏名	現役職名
執行役員 事業開発部長	向山雄樹	営業本部東京支店長

## 2. 執行役員の変動（平成25年4月1日付）

新役職名	氏名	現役職名
取締役兼執行役員 機材管理本部長	松井隆志	取締役兼執行役員 機材管理本部長兼機材運用部長
執行役員 機材管理本部機材運用部長	清水貞光	執行役員 商品部長

平成25年02月 「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」を公表しました。

### 株式分割の目的

株式分割を行うことにより、投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

### 株式分割の概要

平成25年3月31日（日曜日）（ただし、当日は振替機関及び口座管理機関の休業日につき、実質的には、平成25年3月29日（金曜日））を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。効力発生日は平成25年4月1日。

株式分割前の発行済株式総数：11,156,000株（平成24年3月末時点）

今回の分割により増加する株式数：11,156,000株

株式分割後の発行済み株式総数：22,312,000株

株式分割後の発行可能株式総数：72,000,000株

## 過去3年で連結対象とした子会社

平成25年3月期、全子会社業績が連結業績に寄与します。

	主な事業	主な機材
(株)トータル都市整備 H24/8/1に商号変更	◆ シールド工事用仮設機材レンタル	レール, 枕木, 配管, 覆工板
ホリー(株) ※ホリー子会社 ホリーコア(韓国)	◆ 建設用仮設機材開発製造販売 ◇ 住宅用建材開発製造販売 ◇ 太陽光パネル設置架台	クランプ, 先行手すり, 巾木等安全機材 木造軸組金物, バルコニー部材 産業用架台, 住宅用「クイックスレート」
(株)新建ナガキタ	◆ 建設用仮設機材レンタル ※主な営業エリア 新潟, 長野, 関東	枠組足場, 支保工材, 他
(株)エム・ジー・アイ	◆ 移動昇降式足場等の仮設機器の設置 工事及び仮設電気工事の請負	移動昇降式足場「ワークプラットフォーム」

### 上記子会社を連結対象とした時期

	H22/3期				H23/3期				H24/3期				H25/3期	
	1q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
トータル都市			○											
ホリー							○							
新建ナガキタ									○					
エムジーアイ											○			

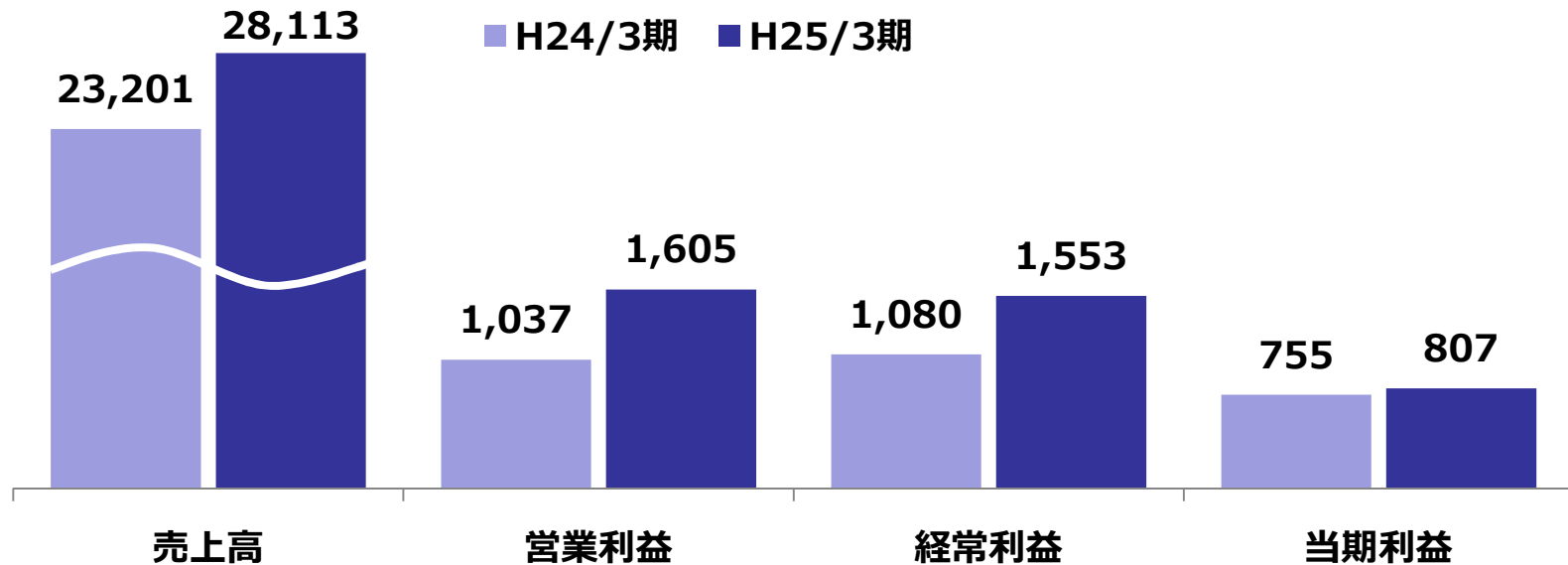
## 連結業績（累計期間）

連結業績 (単位：百万円)	H25/3期 通期予想		H25/3期 実績		前期実績 (H24/3期)		前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	25,600	-	28,113	-	23,201	-	+21.2%
売上総利益	-	-	8,196	29.2%	7,202	31.0%	+13.8%
販管費	-	-	6,590	23.4%	6,165	26.6%	+6.9%
営業利益	1,570	6.1%	1,605	5.7%	1,037	4.5%	+54.7%
経常利益	1,300	5.1%	1,553	5.5%	1,080	4.7%	+43.8%
当期純利益	700	2.7%	807	2.9%	755	3.3%	+6.9%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	-円 (-円)	-	37.66円 (36.84円)	-	34.94円 (34.68円)	-	-
一株当たり配当金	20.00円	-	20.00円	-	20.00円	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	-	-	3,280	11.7%	3,088	13.3%	+6.2%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	4,886	17.4%	4,126	17.8%	+18.4%

注) 「一株当たり純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純利益（及び潜在株式調整後一株利益）を算定しております。  
 「EBITDA」は、簡便的に「営業利益 + 減価償却費」にて算出しております。／「売上総利益」、「販管費」の予想は非公表です。

# PL分析

単位：百万円



対前年増減	+21.2%	+54.7%	+43.8%	+6.9%
<b>要因</b> 上段：販売 下段：レンタル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設関連需要が堅調</li> <li>・環境関連、特に太陽光発電を中心に販売が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高の増加による</li> <li>・一部価格改定が進む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上増加に伴う営業利益の増加</li> <li>・レンタル関連事業の減益を販売関連事業でカバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期、負ののれん発生益：177百万円が一巡。</li> <li>・売上高の増加により、当初計画を上回る</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本での需要、及び工事売上は増加したものの全国的にはやや増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型機材導入による減価償却費負担増、投資に見合う価格改善が進まず。</li> <li>・大型物件の返納により機材整備費増</li> </ul>		

## セグメント別実績 四半期推移（累計期間）

(単位：百万円)		平成24年3月期				平成25年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>販売</b>	セグメント売上高	<b>1,976</b>	<b>4,599</b>	<b>6,974</b>	<b>9,302</b>	<b>2,661</b>	<b>5,750</b>	<b>9,231</b>	<b>13,475</b>
<b>関連事業</b>	内、内部売上	257	578	888	1,053	314	587	791	1,047
	セグメント利益	<b>113</b>	<b>412</b>	<b>632</b>	<b>824</b>	<b>189</b>	<b>587</b>	<b>1,099</b>	<b>1,576</b>
	セグメント利益率	<b>5.8%</b>	<b>9.0%</b>	<b>9.1%</b>	<b>8.9%</b>	<b>7.1%</b>	<b>10.2%</b>	<b>11.9%</b>	<b>11.7%</b>
(対前年増減率) セグメント売上高		—	—	—	—	<b>34.6%</b>	<b>25.0%</b>	<b>32.4%</b>	<b>44.9%</b>
セグメント利益		—	—	—	—	<b>66.4%</b>	<b>42.4%</b>	<b>73.9%</b>	<b>91.3%</b>
<b>レンタル</b>	セグメント売上高	<b>3,191</b>	<b>6,943</b>	<b>11,109</b>	<b>15,125</b>	<b>3,734</b>	<b>7,858</b>	<b>12,099</b>	<b>16,114</b>
<b>関連事業</b>	内、内部売上	21	64	89	174	59	208	282	428
	セグメント利益	<b>90</b>	<b>394</b>	<b>856</b>	<b>1,172</b>	<b>81</b>	<b>409</b>	<b>718</b>	<b>997</b>
	セグメント利益率	<b>2.8%</b>	<b>5.7%</b>	<b>7.7%</b>	<b>7.8%</b>	<b>2.2%</b>	<b>5.2%</b>	<b>5.9%</b>	<b>6.2%</b>
(対前年増減率) セグメント売上高		—	—	—	—	<b>17.0%</b>	<b>13.2%</b>	<b>8.9%</b>	<b>6.5%</b>
セグメント利益		—	—	—	—	<b>△10.6%</b>	<b>3.8%</b>	<b>△16.1%</b>	<b>△14.9%</b>
売上高合計		<b>5,168</b>	<b>11,543</b>	<b>18,083</b>	<b>24,428</b>	<b>6,396</b>	<b>13,608</b>	<b>21,330</b>	<b>29,589</b>
内、内部売上		<b>278</b>	<b>643</b>	<b>978</b>	<b>1,227</b>	<b>374</b>	<b>796</b>	<b>1,073</b>	<b>1,476</b>

## 連結貸借対照表

(百万円)		
(資産の部)	H24/3	H25/3
流動資産	12,202	13,725
固定資産	20,269	20,262
資産合計	32,472	33,987
(負債の部)		
流動負債	12,351	14,117
固定負債	13,740	12,760
負債合計	26,091	26,877
(純資産の部)		
株主資本	6,163	6,756
その他包括利益累計額合計	107	190
純資産合計	6,380	7,110
負債及び純資産合計	32,472	33,987

### 【資産の部】

#### 流動資産

受取手形及び売掛金の増加：+1,185百万円

#### 固定資産

建物及び構築物の増加：+384百万円

宮城仙台第2, 福島須賀川, 東海木曾岬センターを開設

賃貸資産（純額）の減少：△486百万円

#### 無形固定資産

のれん：△86百万円

MGI社のれんを減損処理  
ホリー社のれんの償却、他

#### 投資その他の資産

投資有価証券の増加：+86百万円

岡山第一発電所への出資、他

### 【負債の部】

支払手形及び買掛金の増加：+992百万円

販売に伴う仕入額の増加

有利子負債残高の減少：△150百万円

## 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)		
	H24/5期	H25/3期
税金等調整前当期純利益	1,259	1,489
営業キャッシュフロー小計	669	1,575
投資キャッシュフロー小計	△539	△812
財務キャッシュフロー小計	△39	△779
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	61	△23
現金及び現金同等物の期首残高	3,039	3,100
現金及び現金同等物の期末残高	3,100	3,076

### 【営業キャッシュフロー】

税金等調整前当期純利益の増加：230百万円  
減価償却費の増加：192百万円  
賃貸資産の取得による支出の減少：586百万円

### 【投資キャッシュフロー】

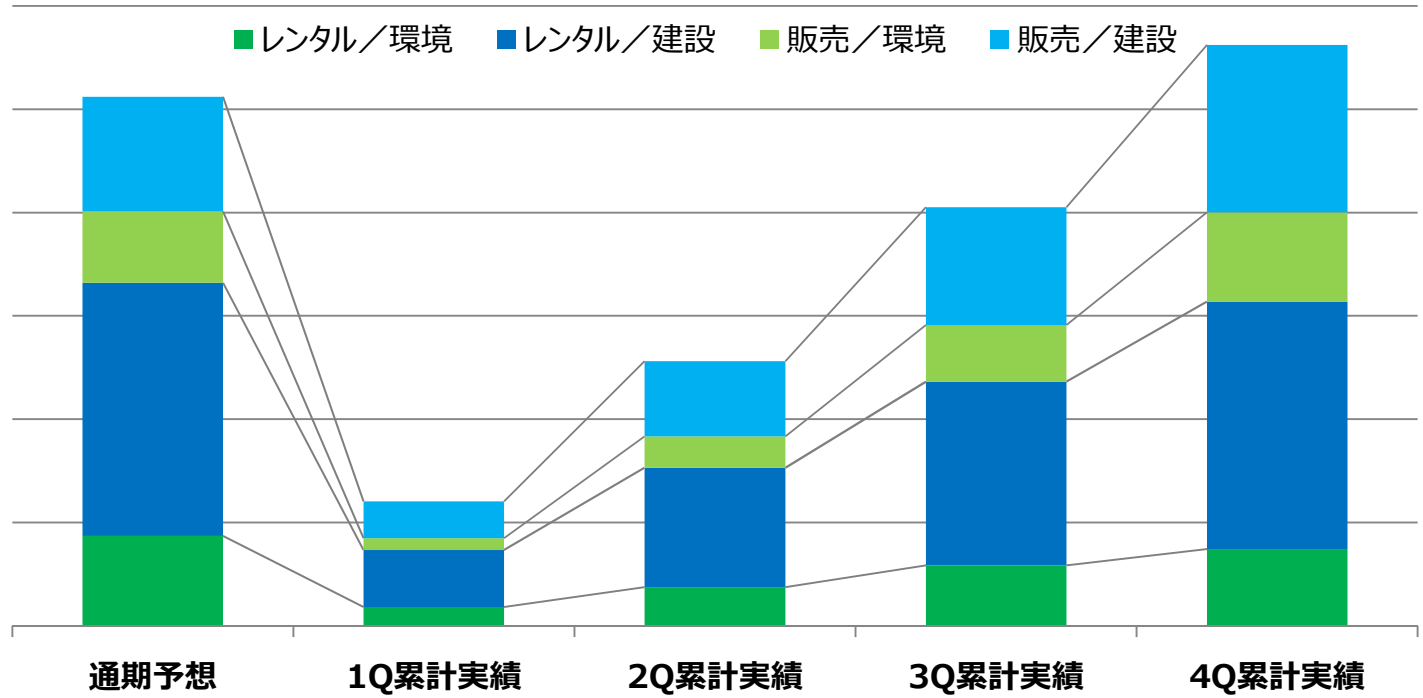
有形固定資産の取得による支出の増加：293百万円  
・機材センターの開設

### 【財務キャッシュフロー】

長期借入金の返済による支出の増加：776百万円  
社債の償還による支出の減少：550百万円



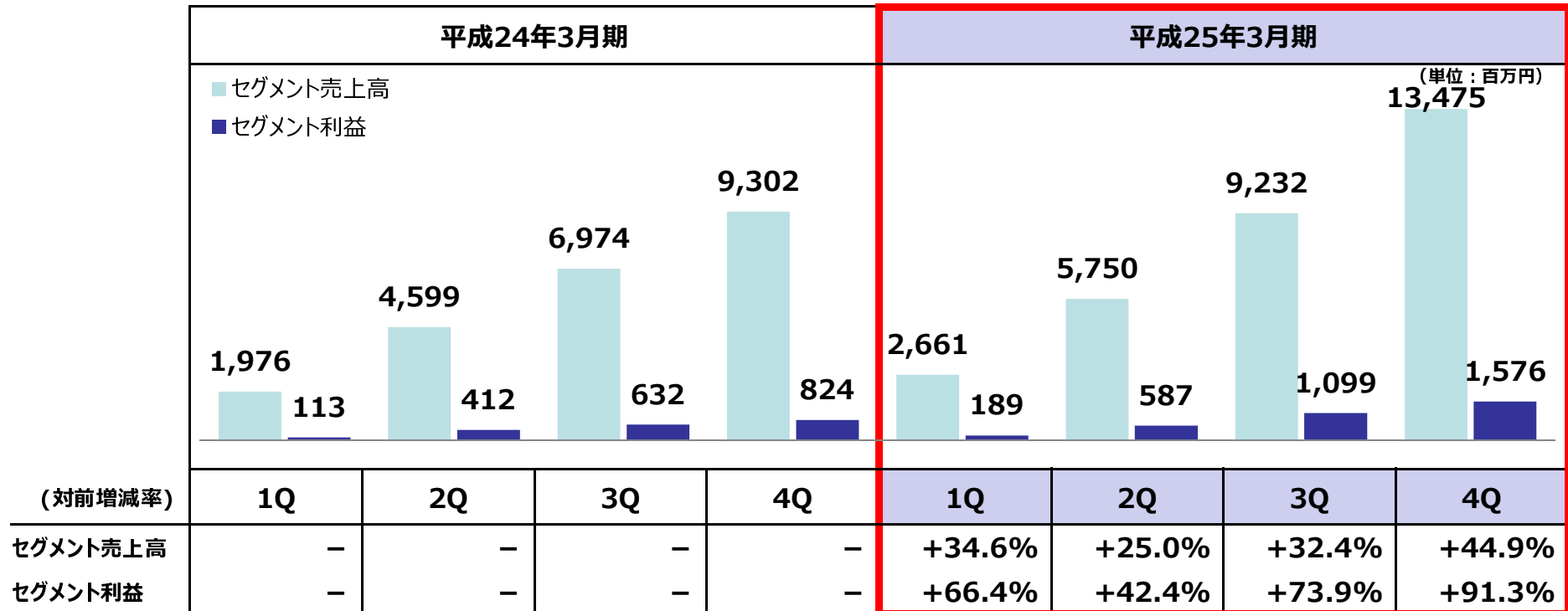
# 参考資料：H25/3期 分野別（建設／環境）売上高実績



平成25年3月期		通期予想	1Q 実績	2Q 累計実績	3Q 累計実績	4Q 累計実績	構成比
販売	建設	55.5億円	17.8億円	36.5億円	57.0億円	81.1億円	14.5%
	環境	34.5億円	5.6億円	15.1億円	27.3億円	43.1億円	43.9%
レンタル	建設	122.5億円	27.7億円	57.7億円	88.8億円	119.6億円	13.5%
	環境	43.5億円	9.0億円	18.7億円	29.2億円	37.1億円	28.2%
合計		256.0億円	60.2億円	128.1億円	202.5億円	281.1億円	100.0%

注) 売上高は内部売上を消去しています。

## セグメント別売上高 / 販売関連事業（累計期間）



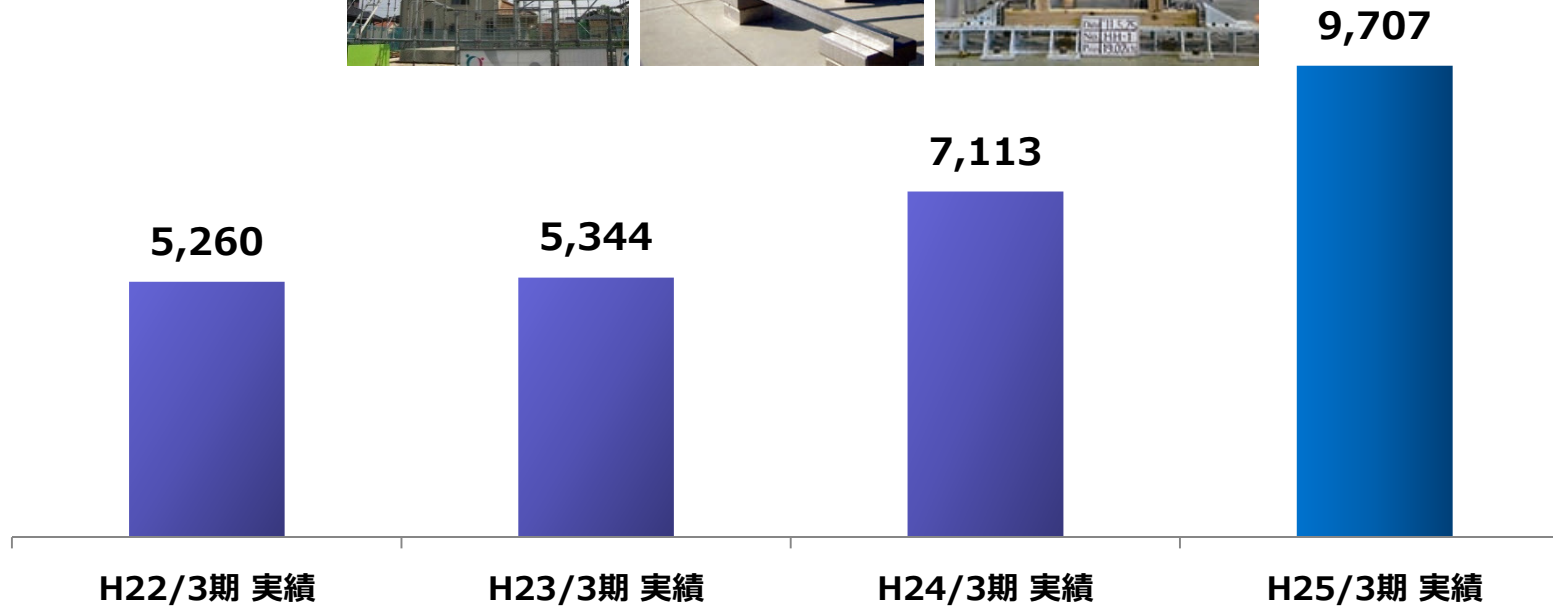
### 要因

- ・ 足場部材のクランプ<sup>®</sup>及びくさび式住宅用足場の需要が堅調
- ・ 中古機材の需要に対応、保有機材の在庫調整
- ・ 「住宅用制振装置」の住宅搭載率向上による受注確保
- ・ 住宅用、産業用共に太陽電池設置架台の販売が増加

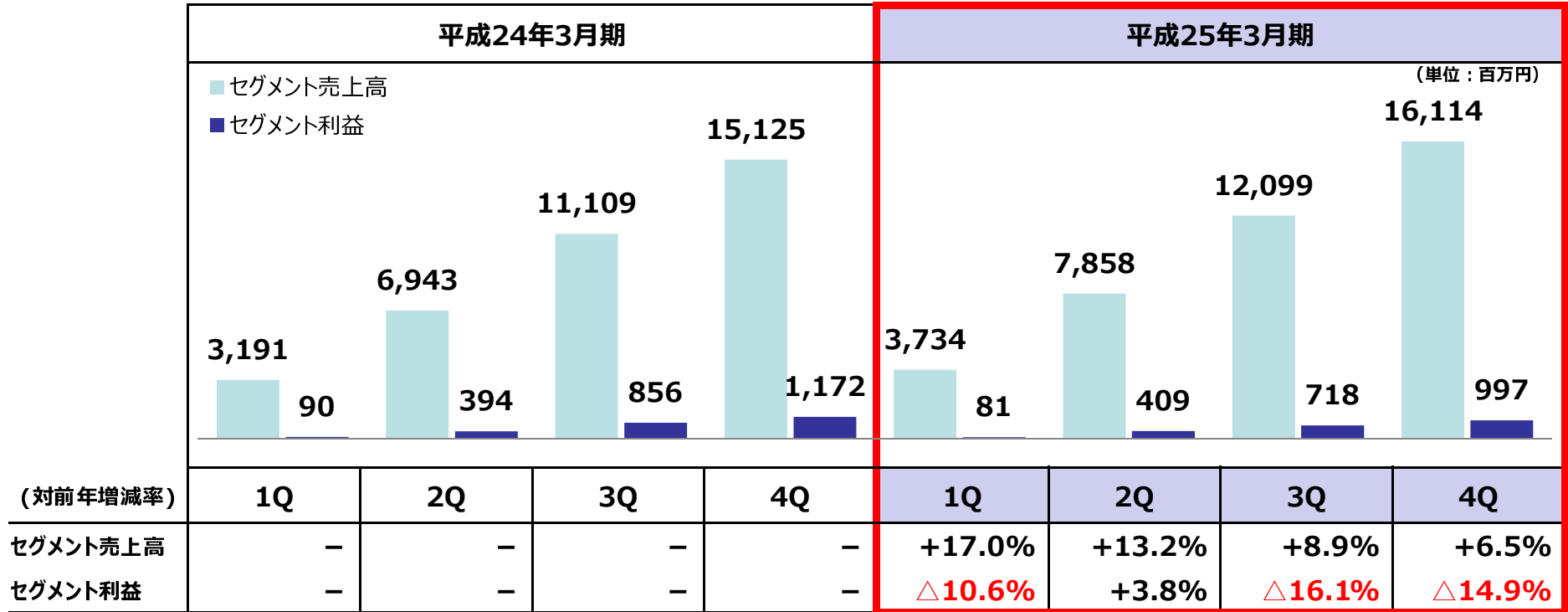
# ホリー株式会社 売上高推移



(単位：百万円)



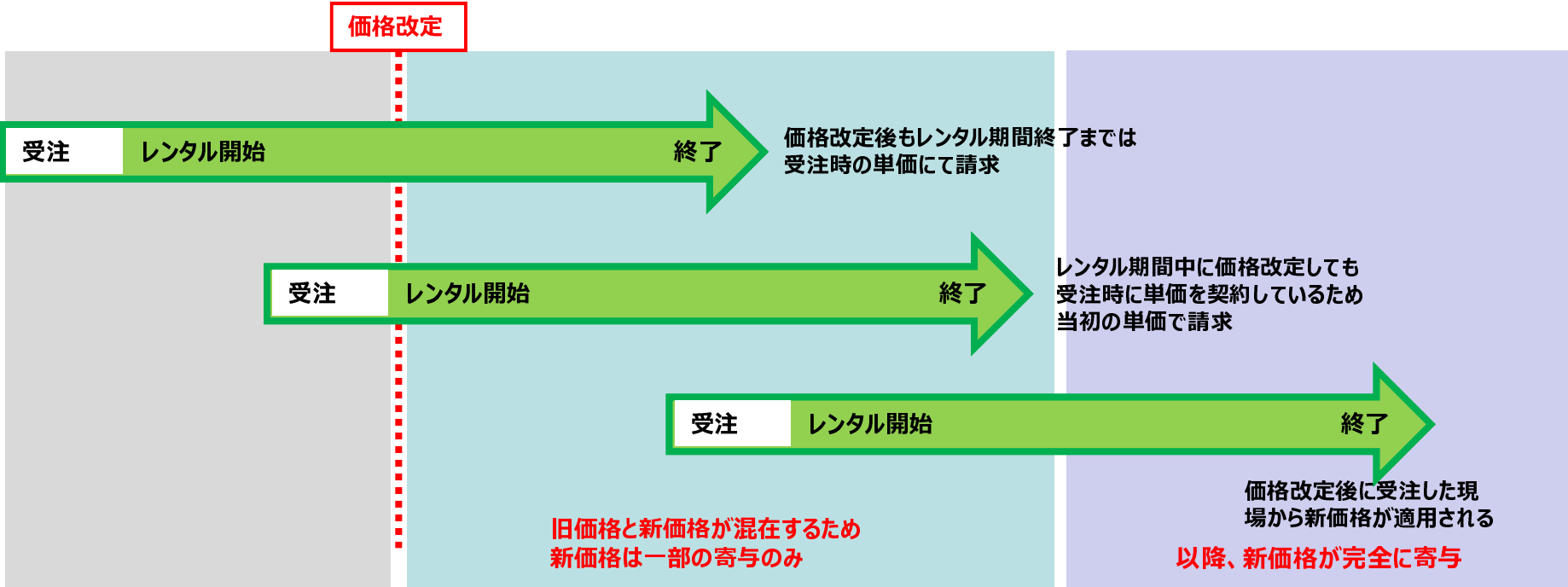
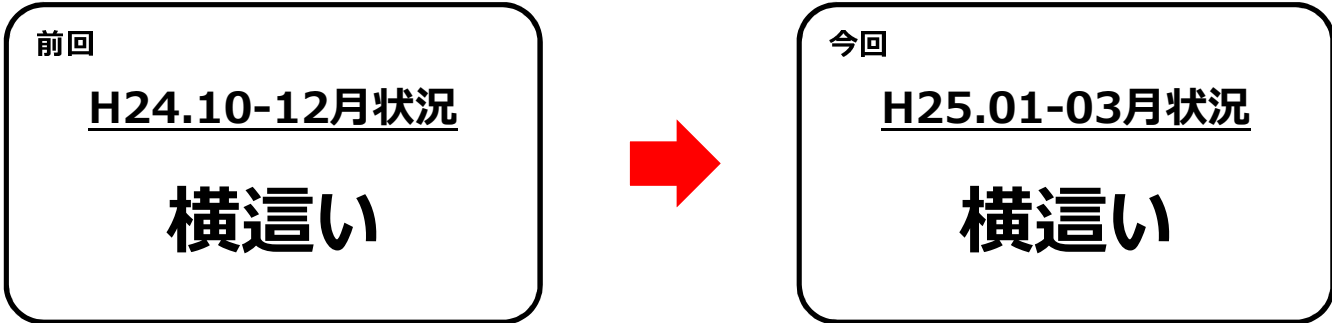
# セグメント別売上高 / レンタル関連事業（累計期間）



## 要因

- ・ 大型橋梁現場が一巡し、終了現場からの返納により稼働状況が低迷
- ・ 新型機材の減価償却費負担、返納機材の整備費用等の増加によって利益を押し下げ
- ・ 都市部を中心とした改修工事が増加
- ・ 全国レベルで発生する維持改修工事へ対応するため保有機材を整備、見直し

# 価格動向



## レンタル事業 受注済み現場と今後の見通し

### 【受注済主力現場】

北海道新幹線（青森県）

東西線地下鉄駅（宮城県）

市立病院新築（宮城県）

第2東名高速道路

新名神高速道路

東九州自動車道

### 【今後主力となる現場】

污水处理施設（宮城県）

JR仙石線移設

首都圏中央連絡道路（埼玉県）

新名神高速道路

ゴミ処理施設（近畿）

東海道新幹線修繕



### 支保工（型枠支保工）

コンクリート打設の際に型枠を支えるための仮設構造物  
高架橋では、橋桁部分のコンクリートを打設する際に利用します。

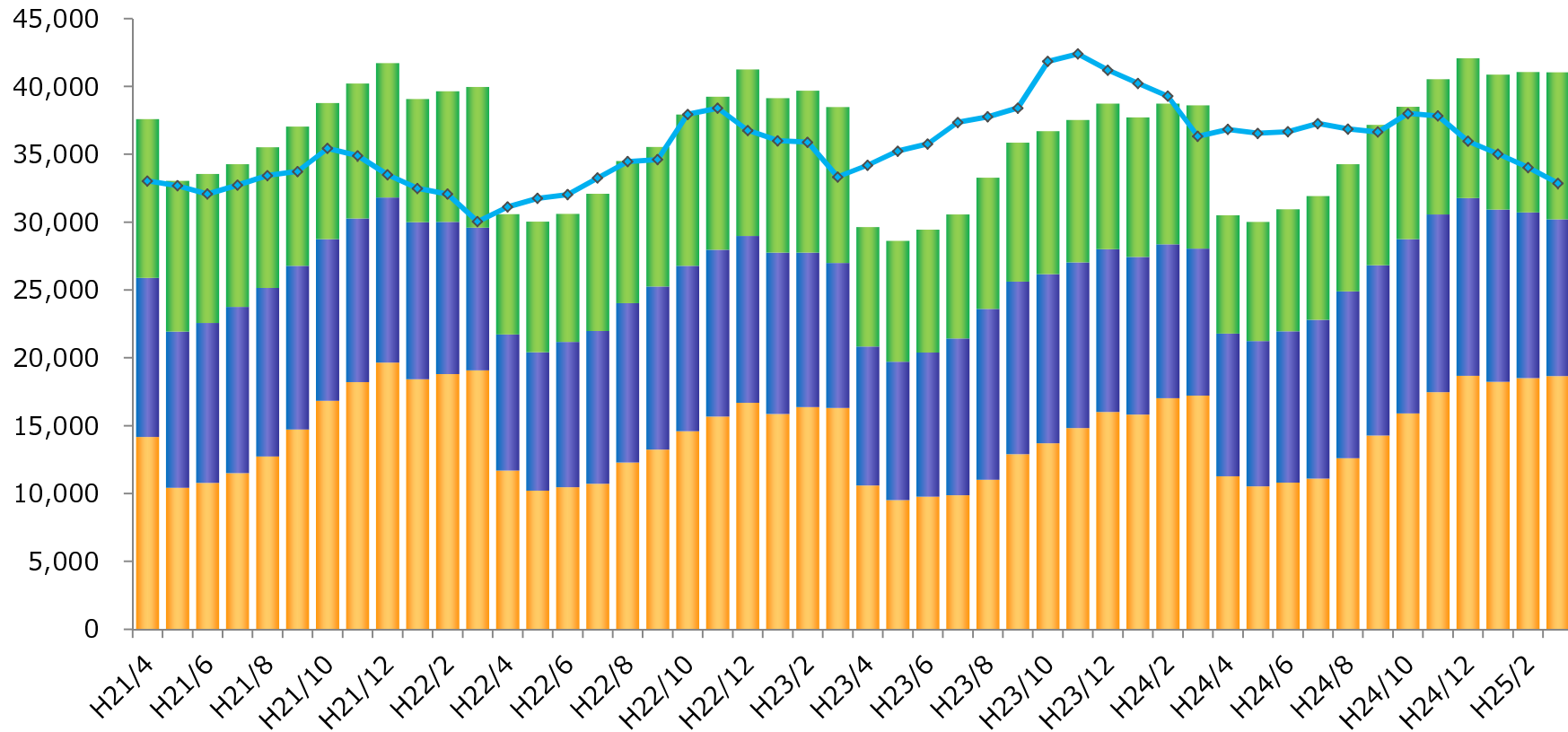


### 吊足場

橋桁に吊下げ点検や修繕工事に利用する足場

# 国内建設工事出来高と当社機材稼働率の推移

(単位：億円)    ■ 公共工事    ■ 民間建築工事    ■ 民間非住宅工事+土木    ◆ SRG機材稼働率



未消化工事	公共工事	民間建築工事	民間非住宅工事+土木
平成25年03月時点	11兆9,038億円	2兆169億円	6兆747億円

「国内建設工事出来高」、「未消化工事」：国土交通省 建設総合統計より

## 平成26年3月期 連結業績予想（累計期間）

（単位：百万円）

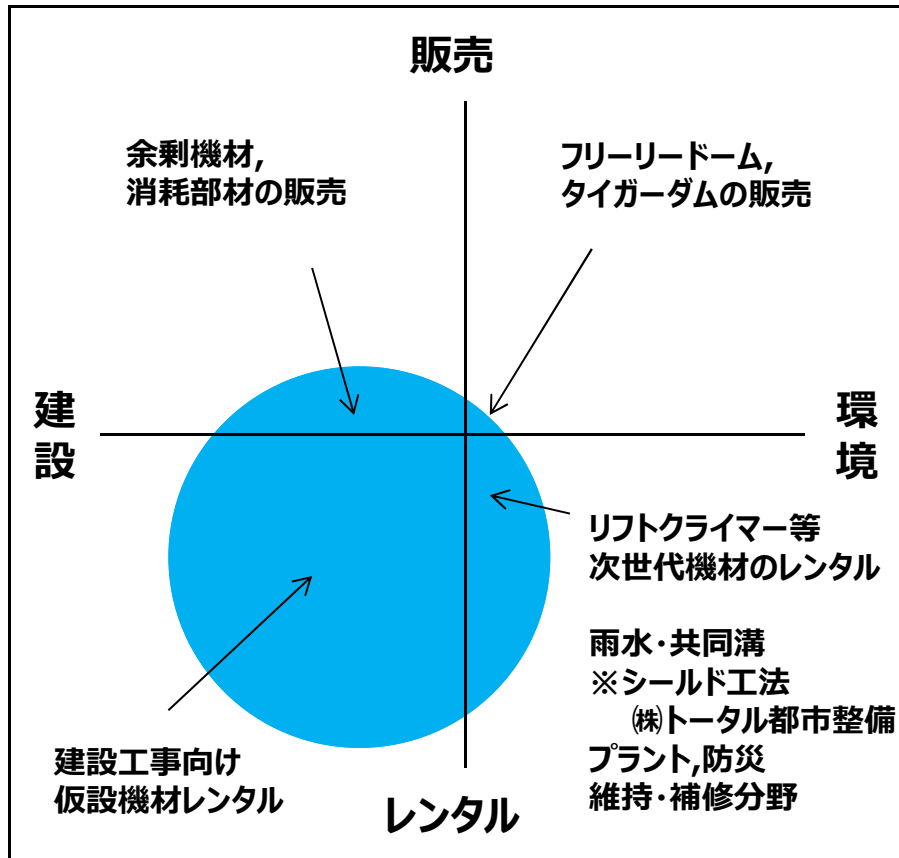
	第2四半期		通期		通期予想 対前年増減率
		売上高比率		売上高比率	
売上高	13,350	—	29,200	—	+3.9%
営業利益	420	3.1%	1,760	6.0%	+9.6%
経常利益	359	2.7%	1,650	5.7%	+6.2%
当期純利益	130	1.0%	870	3.0%	+7.8%
1株当たり当期純利益	6.07円		40.58円		—
1株当たり配当金	—		10円		—

※当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

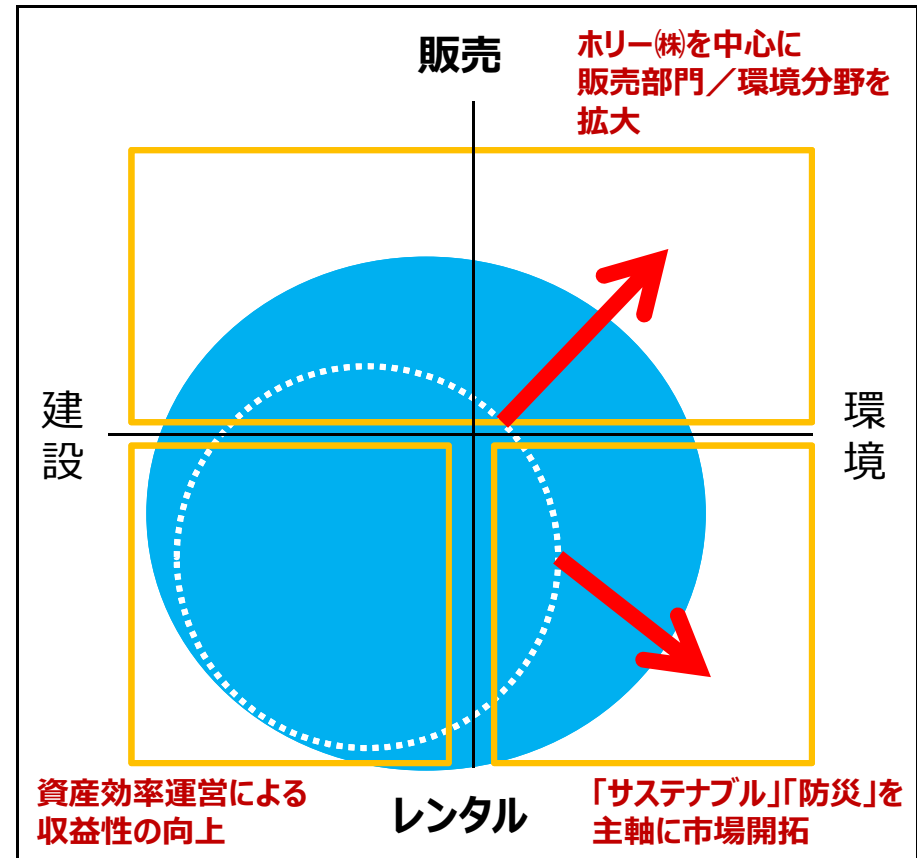


# SRGタカミヤグループ経営戦略イメージ

従来のSRGタカミヤグループ



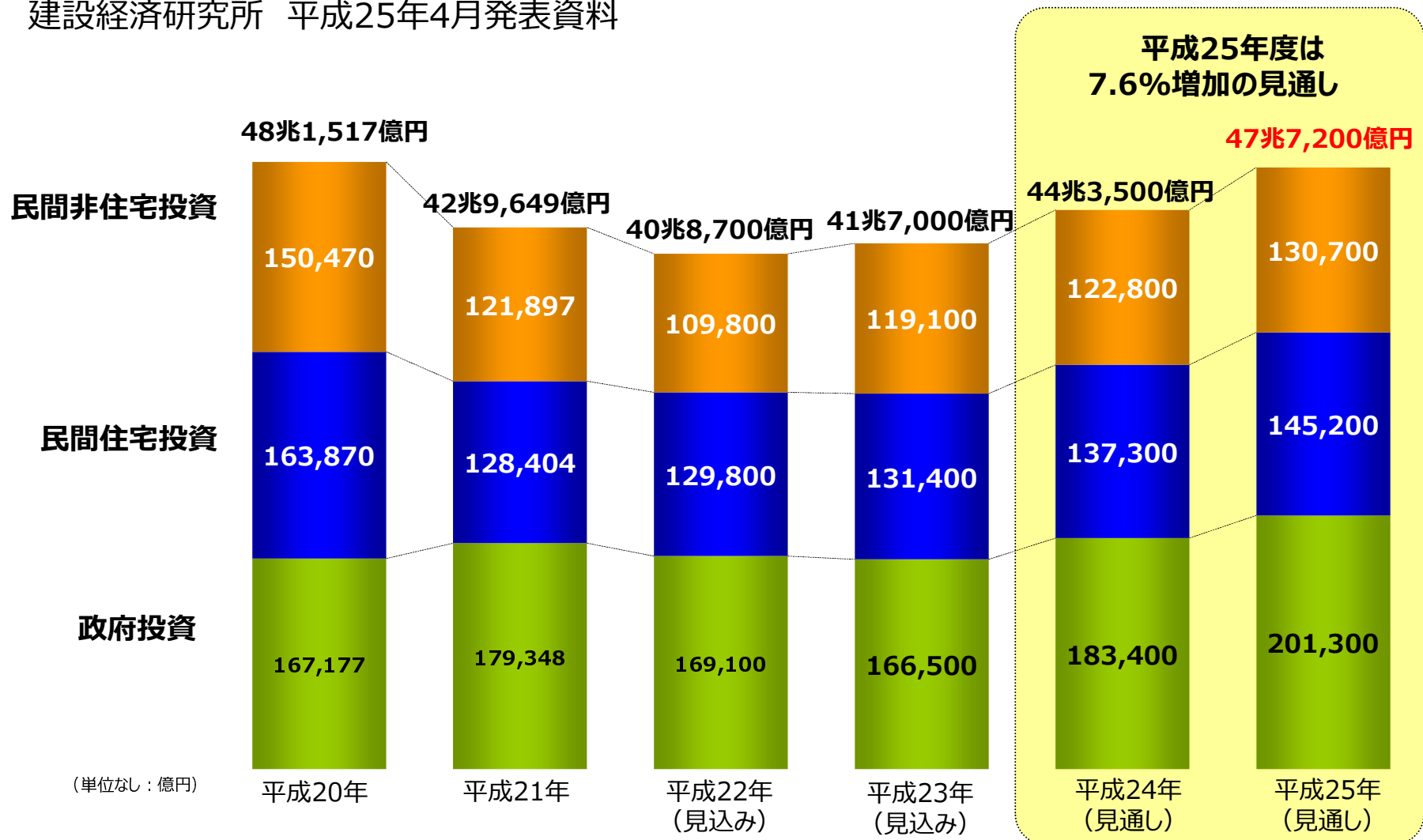
SRGタカミヤグループ経営戦略



成長分野を明確にするためにセグメント別で戦略立案

# 国内建設投資額推移

建設経済研究所 平成25年4月発表資料



## 平成26年3月期 見通し

### 業界環境

- ・ 企業マインドの改善により国内建設投資が緩やかに回復基調で推移
- ・ 震災復興工事も本格化、老朽化インフラの維持補修・耐震・防災への対応は全国的に波及

### 販売関連事業

- ・ 生産体制を強化し引き続き旺盛な仮設関連需要に対応
- ・ 太陽電池設置架台や住宅用制震装置の製造販売を販売事業の柱にすべく注力

### レンタル関連事業

- ・ 維持補修・耐震・防災関連への拡販
- ・ 技術提案型営業を推進し価格改善への取り組み
- ・ 引き続き資産効率を追求し利益体質への転換を図る

## 配当の状況

※平成25年3月31日を基準日とした1対2分割を実施しております。

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期 予想
<b>配当金</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>10円</b>
内訳) 1Q	-	-	-	-
2Q	-	-	-	-
3Q	-	-	-	-
4Q	20円	20円	20円	10円
<b>配当金額総額</b>	<b>216百万円</b>	<b>214百万円</b>	<b>214百万円</b>	-
<b>配当性向</b>	<b>71.7%</b>	<b>28.6%</b>	<b>26.6%</b>	<b>24.6%</b>

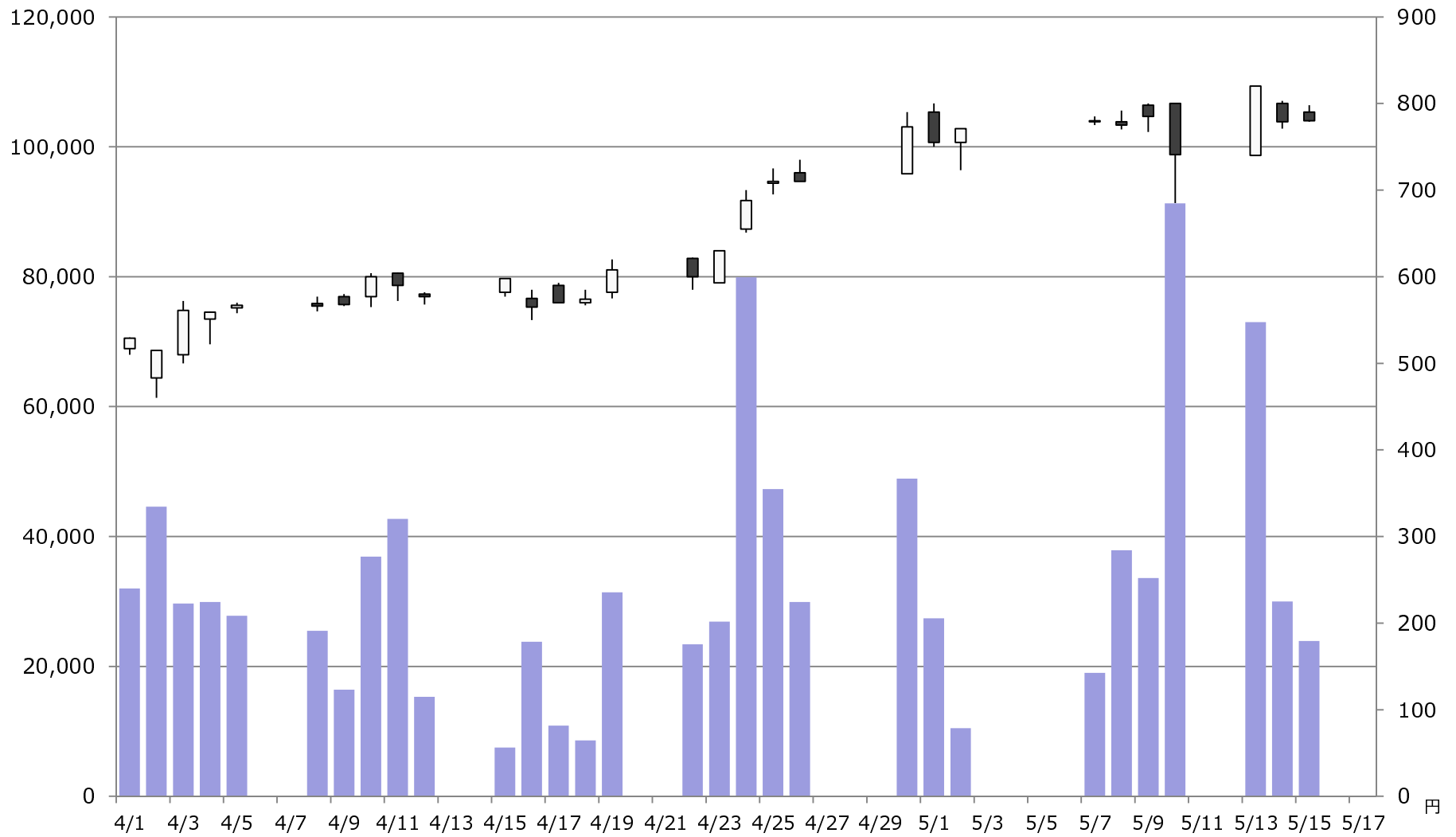
## 連結業績の推移

(単位：百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高	15,338	14,530	17,490	23,201	28,113
営業利益	1,797	678	722	1,037	1,605
当期純利益	513	337	302	755	807
総資産	24,958	25,283	29,594	32,472	33,987
純資産 (自己資本)	5,543	5,679	5,738	6,380	7,110
EBITDA	4,284	3,280	3,468	4,126	4,886

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
ROE (純資産利益率)	9.4%	6.0%	5.3%	12.0%	11.5%
売上高純利益率	3.3%	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%
総資産回転率	0.61	0.57	0.59	0.71	0.83
財務レバレッジ	4.50	4.45	5.16	5.09	4.78

# 直近株価推移



## エスアールジータカミヤ株式会社 会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社
設立	昭和44（1969）年6月21日
代表者	代表取締役社長 高宮一雅
資本金	6億7,975万円
従業員数	連結：710名 単体：344名 (平成25年3月末時点)
登記本社	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー
営業拠点	【支店】東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡（計5） 【営業所】盛岡、福島、鹿島、市原、北陸、京滋、四国、広島（計8） 【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、宮城仙台第二、福島須賀川、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条（計22）
連結子会社	ホリー(株)、ホリーコア(株)、(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)新建ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、(株)MGI（計11）
株式上場	平成17年05月 JASDAQ証券取引所（注）平成20年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 平成19年12月 東京証券取引所市場第二部



# IRコンタクト

**エスアールジータカミヤ株式会社** 経営企画室 IR 担当：川畑

電話番号： 06-6375-3918

ファクシミリ： 06-6375-8827

当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： [ir@srg.jp](mailto:ir@srg.jp)

住所： 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー21階

本資料は、平成25年3月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。  
また、本資料は一部を除き平成25(2013)年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。  
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。